

3 月定例会の予定 正式には2月28日の開会日に決定します。

● 時間：午前10時から ● 場所：本庁舎4階 議場

2月28日(火)	本会議【開会、会期決定、提案理由説明】
3月6日(月)	本会議【一般質問1日目、委員会付託(請願・陳情)】
7日(火)	本会議【一般質問2日目】
8日(水)	本会議【一般質問3日目】
9日(木)	本会議【総括質疑、委員会付託(議案)】
10日(金)	委員会【各常任委員会・付託案件の審査】
13日(月)	委員会【各常任委員会・付託案件の審査】
14日(火)	委員会【各常任委員会・付託案件の審査】
16日(木)	本会議【各常任委員長報告、質疑、討論、表決、閉会】

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、傍聴の際は検温、マスク着用、手指消毒にご協力をお願いします。

本会議はインターネット中継及び録画配信を行っています。

こちらのQRコードを読み込んでください。

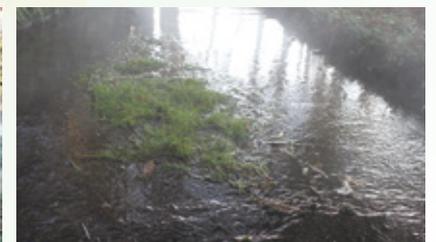


取材レポート

表郷 ビャッコイ自生地 清掃活動

「ぼくたちわたしたちが守り続ける」

表郷が国内唯一の自生地となっているビャッコイ。現在、国の特定第一種国内希少野生植物種に指定されている。また、昭和30年から県の天然記念物に指定されているが、今年度当初予算で県から国の天然記念物へ指定を受けるための調査費が計上された。ビャッコイが県の天然記念物に指定されたのが12月27日であったことから、毎年12月にビャッコイの保全活動を担っている「表郷環境ネットワーク」と「表郷中学校の1・2年生」が清掃活動を行っている。今年は生徒87名が参加した。それぞれ手際よくいきいきと作業に取り組んでいた。表郷環境ネットワーク会長の滝田国男さんは、「行政が予算化してビャッコイを守ろうとしてくれるのはうれしいこと。子どもたちにはこの活動を通して地域の宝のあり方を学んでほしい。」と話す。生徒たちからは「ボランティアがないとビャッコイが汚くなってしまっからしっかりと取り組みたい。」「清掃することできれいになっていくことが楽しい。」「地域に貢献できてうれしい。」という声があった。表郷の子どもたちはこの活動を通して「ビャッコイを守り続ける」という意識が根付いている。国の天然記念物に指定されることを待ち遠しく思う。(取材担当：大木)



議会報編集委員会



室井 伸一

高島 裕

大木 絵理

鈴木 裕哉

佐川 京子 副委員長

石名 国光 委員長

編集後記
表紙の写真は旧信夫一小・旧信夫二小・旧大屋小の3校が合併して4月6日に開校式が行われた大信小学校です。校長先生をはじめ教頭先生やほかの先生方も子どもたちが学校になじんでくれるのだから、仲良くやっていけるのだらうかと不安を抱えていたのですが、子どもたちはそんな不安を吹き飛ばしてくるくらい、毎日元気に学校に通って来てくれて、大勢の友達できて学校に来るのが楽しいという声が聞こえるそうです。たくさん学んで、たくさん遊んで、忘れられない思い出をつくってほしいものです。
室井委員